

## 節電意識に関する調査 中間集計結果の公表について



不動産マーケティングのアトラクターズ・ラボ株式会社(東京都千代田区・代表取締役:沖有人)は、節電意識に関する調査を実施したのでこれを公表する。

この調査は首都圏(一都三県)の居住者に対し、ネットリサーチにより節電意識に関する調査を2011年3月24日から実施している。25日の午前中までの途中段階で中間集計を実施し公表するもので、総回答数は1313件。

これによると、現在の節電意識が「節電意識が高まった」と回答した人は全体の62%に達し、首都圏居住者の節電意識の高まりが確認できる。実施している節電策で、「使わない」との回答率上位5位は「エアコン(43%)」、「電気カーペット(36%)」、「床暖房(33%)」、「電気ストーブ(32%)」、「電気コタツ(29%)」と、暖房器具が上位を独占している。次に「使う頻度を落とした」家電の上位は「電気ストーブ(30%)」、「エアコン(27%)」、「床暖房(27%)」、「洗濯機・乾燥機(26%)」、「テレビ(25%)」であった。

首都圏居住者が暖房器具の使用を控え、洗濯機やテレビなど緊急性の高くない家電の使用頻度を抑えながら節電を実施している姿が明らかになっている。しかしながら、使用を控えると節電効果の高い「電子レンジ」や「電気ポット」は使わない、使用頻度を落とした、の両項目で上位には入っておらず、節電意識、行動と節電知識のギャップが生じていることが懸念される

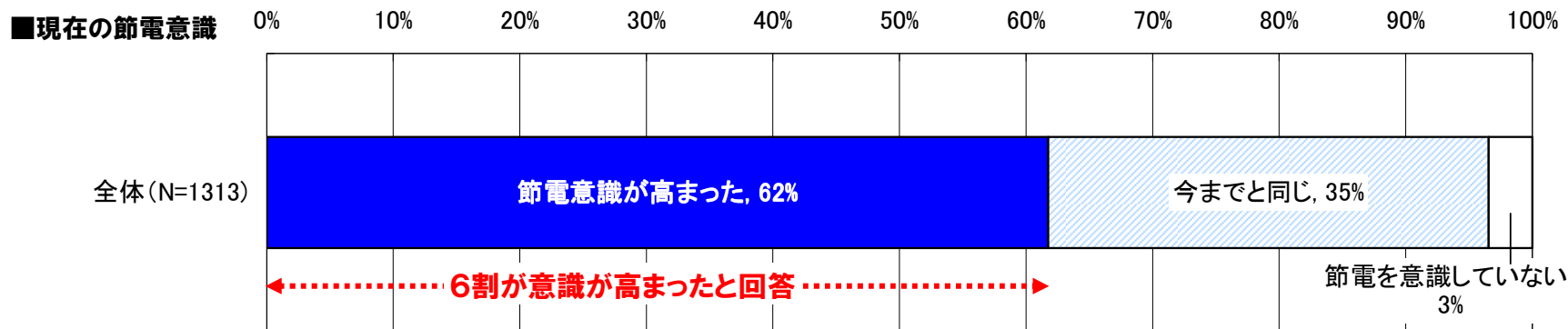
この結果は弊社運営の節電大作戦(<http://www.setuden.info/>)でも公表することとする。

(問合せ先)担当:堂坂 03-3221-2556

# 節電意識、および実施している節電対策<回答者：一都三県居住者>



## 【節電意識】



## 【実施している節電策】

